

わらどん

令和2年11月 4日

発行責任者
早川北小学校
校長 丹沢伸也

大成功に終わった「わらべどんぐり祭り」



去る十月十一日の日曜日、台風の接近のため順延となりましたが、「わらべどんぐり祭り」を無事開催することができました。コロナ禍の中、内容、参観者ともに縮小しての実施となりましたが、伝統ある北小の発表内容を半日に凝縮し、例年に見劣りしない大変すばらしいものができたと感じます。オープニングでは、全児童による呼びかけを行い「すべての人に出会えてよかった」と会場に

北小児童の願いをこめたデクころがし

十月が終わり二〇二〇年も残り僅か二ヶ月となりました。十一月には、コロナ禍により様々な制約がある中でしたが、無事「わらべどんぐり祭り」を終えることができました。北小を含め、多くの学校が様々な工夫を凝らしながらも例年に近い活動ができていくことをうれしく思います。



きた方にメッセージを伝えました。民話劇では「デクころがし」を題材に、現在の「流行病」であるコロナ感染症の収束の願いもこめ「みんなが元

気でいられる世の中になつとくれー」と、舞台上で元気に「デク」を転がしました。児童の思いが届き、早く感染症の不安のない世界、学校に戻る日がくることを心より願うところです。

音楽発表では、合唱は行わず、低学年、高学年に分かれての器楽発表となりました。それぞれ「パフ」「威風堂々」に取り組み、先生方も協力して参加し、リコーダーを主旋律に心温まる演奏を披露しました。体育の部は、北小の伝統である「北小体操」と「一輪車」をメインに、リレーなどの競争競技を加えての発表となりました。前日の台風でグラウンドの様子も心配されましたが、影響はなく天候にも恵まれ素晴らしい発表を行うことができました。

秋の全校遠足 県立科学館

わらべどんぐり祭りから、三日空けた十五日、全校遠足で、甲府の県立科学館を訪れました。行きのバスの中では、児童が一日のめあてを発表したり、クイズを出し合うなど、終始和やかに過ごし科学館に到着しました。科学館では思い思いに見学をして、昼食後は、低学年は万華鏡の工作、高学年はプラネタリウム体験で楽しみました。

天候にも恵まれ、児童にとってもは、「わらべどんぐり祭り」をがんばった、「ご褒美」となった一日となりました。



浜田尚子さんから感想を

今回、民話劇の参観を見られた方々のために、ユーチューブで民話劇をみる事ができるようになりました。「小さな町のつかい笑顔」を執筆された浜田尚子さんが、動画を見て感想を寄せていただいたので紹介します。

「デクころがし」の動画を見ました。今、全世界の人々がコロナウィルスの流行で苦しんでいます。このコロナウィルスは劇に出てきた「はやり病」のことですね。その病で苦しんでいる人にその声が私の胸にズンとひびきましたよ。動画を見た多くの人の心にもグンときたと思います。マスクをつけての立派な民話劇「デクころがし」でした。」

山の景色が、とても良かったです。緑の山のかさなりが、山あいの風景をよく現わしていたと思います。こたつの色も緑でおしゃれでした。演技も自然で、セリフは大きな声ではっきり聞こえました。病気の子どもが苦しむ姿は熱演でした。でも、最後の方で祝儀の金額では、「少ないなあ」とおねだりをするところは笑って

お知らせ

○民話劇 動画配信

わらべどんぐり祭りでも発表した民話劇「デクころがし」を動画投稿サイト、YouTubeで見ることができるようになりました。北小のホームページから、また検索サイトで「早川北小 民話劇」と検索しても視聴することができます。是非多くの人に見ていただければと思います。

○朝の読書活動「読み聞かせ」が始まります。

今年度コロナ禍による長期休業のため実施が遅れた朝活動での「読み聞かせ」を十一月後半から始めます。今年度は、二家庭でボランティアに協力いただけることになりました。児童がより多く本に親しめるような機会になればいいと考えています。ご協力いただける保護者の皆様には感謝申し上げます。

しました。涙あり笑いありの民話劇でした。本当によかったですよ。感動しました。「コロナは退散！」ですね。

先生方、職員のみな様、保護者の皆様お疲れ様でした。大変な時期に、これだけの民話劇が見られるとは思っていませんでした。ありがとうございます。コロナウィルスに負けずに、みんなで乗り切りましょう。もう少しの我慢です。

浜田 尚子

浜田さんには事前に児童へのメッセージもいただきましたが、当日紹介させていただいたのですが、浜田さんのような北小の「ファン」である方がいることはとても嬉しい限りです。そんな方々への期待に応えられよう、来年度以降も取り組んでいきたいと思っております。